

令和7年3月 袖ヶ浦市定例記者会見

日時 令和7年3月3日（月）
午前10時00分から
場所 北庁舎2階 政策会議室

《発表事項》

1

～日々の暮らしに活用を～

(P.1)

「2025年保存版 袖ヶ浦市民便利帳」発行

【秘書広報課】

2

～知ろう 行動しよう～

(P.3)

「カーボンニュートラル アクションフェア袖ヶ浦」開催

【環境管理課】

3

～色とりどりの花々を観賞しながら～

(P.5)

「第35回袖ヶ浦公園まつり」開催

【都市整備課】

4

～地域防災力の向上へ～

(P.7)

「消防団第13分団詰所落成式」挙行

【消防総務課】

5

～南庁舎「市民ギャラリー」初展示会～

(P.9)

「がうらっ子学びギャラリー」開催

【総合教育センター】

6

～令和6年4月21日に本館入館者100万人達成記念として～

(P.11)

「郷土博物館本館入館者100万人達成記念植樹」開催

【郷土博物館】

1

～日々の暮らしに活用を～

「2025年保存版 袖ヶ浦市民便利帳」発行

このたび、日々の暮らしや災害時に役立つ情報、医療マップなどを掲載した冊子「2025年保存版 袖ヶ浦市民便利帳」を3年10か月ぶりに発行しました。

この便利帳は、株式会社サイネックスとの官民協働事業により市内事業者等からの広告収入を原資として、市の費用負担なしで作成・発行したもので、市内の全世帯へ無償配布します。

また、配布後に市内に転入する世帯には、（電子書籍版）便利帳の二次元コードを記載した案内文を転入手続きの際に配布します。

市民の皆様が快適に暮らしていくうえで、欠かすことのできない情報をまとめているため、ぜひお手元に置いていただき、ご活用ください。

1 発行物

「2025年保存版 袖ヶ浦市民便利帳」

A4判 112ページ 31,300部

2 発行年月

令和7年2月

3 配布対象

袖ヶ浦市内の全世帯

4 配布期間

令和7年3月1日（土）から3月31日（月）まで
ポスティングで順次配布

5 設置場所

市民課、平川交流センター、長浦交流センター

6 問合せ

企画政策部秘書広報課 担当：渡邊 電話：0438(62)2435



市ホームページ
（電子書籍版）

袖ヶ浦市民便利帳



2

～知ろう 行動しよう～

「カーボンニュートラル アクションフェア袖ヶ浦」開催

カーボンニュートラルの実現に向けて、事業者・団体と市が連携し、地球温暖化対策の必要性を周知するとともに、市域全体での推進を図るため、新たに「～知ろう 行動しよう～ カーボンニュートラル アクションフェア袖ヶ浦」を開催します。

本イベントでは、温室効果ガスの削減や気候変動への適応に関する講座や展示のほか、ワークショップやペットボトルキャップ等の回収など様々なアクションを通して、市民、事業者の皆様が地球温暖化対策を知って、行動するきっかけを提供していきます。

1 日時

令和7年3月20日（木・祝）9時30分から15時00分まで

2 場所

袖ヶ浦市役所 南庁舎

3 出展団体・内容**(1) 講演**

- 10:00～11:00 「身近な気候変動影響と適応策」
（千葉県気候変動適応センター 坂元氏）
- 13:30～14:30 「企業ができる地球温暖化対策」
（NPOテクノサポート 大塚氏）

(2) 展示

- ・千葉県気候変動適応センター（気候変動に関する展示）
- ・NPOテクノサポート（企業サポートに関する展示）
- ・東京ガス（生活の中の地球温暖化対策に関する展示）
- ・ウォータースタンド（熱中症予防に関する展示）
- ・袖ヶ浦市（緑のカーテンの紹介、電気自動車の展示 ほか）



(3) ワークショップ等

- ・せなびーのキッズアート（廃棄野菜でスタンプアート体験 ほか）
- ・ひらおかサステラス（量り売り体験、マイバッグづくり ほか）
- ・三井化学&アミタ（資源循環の体験 ほか）
- ・リプラス（ペットボトルキャップの回収）
- ・JAきみつ（地元野菜の販売）
- ・袖ヶ浦市（フードドライブ、使用済小型家電の回収 ほか） など

4 ホームページ

<https://www.city.sodegaura.lg.jp/soshiki/kankyo/carbonneutral-actionfair.html>



5 問合せ先

環境経済部環境管理課 担当：河口 電話：0438(62)3404



3

～色とりどりの花々を観賞しながら～
「第35回袖ヶ浦公園まつり」開催

袖ヶ浦公園は、本市唯一の総合公園であり、カモをはじめとする様々な野鳥の訪れる大小2つの池と、四季折々の花々を楽しめる、自然環境豊かな『水と緑と花の公園』として、多くのお客様が訪れる観光スポットとなりました。

今回で35回目となる袖ヶ浦公園まつりは、ご来園の皆様に楽しんでいただけるよう、様々な催しを用意しています。

桜や菜の花など色とりどりの花で彩られる袖ヶ浦公園を存分にお楽しみください。

多くの皆様のご来園お待ちしております。

1 日時

令和7年4月5日（土）9時00分から15時00分まで

セレモニー（来賓祝辞等）は11時30分より

※雨天時 6日（日）に順延

2 場所

袖ヶ浦公園

3 主催・後援

主催：袖ヶ浦公園管理組合

後援：袖ヶ浦市

4 イベント内容（詳細は別紙プログラムのとおり）

和太鼓の大きな音色から始まり、毎年恒例の地元袖ヶ浦高校吹奏楽部による演奏、JK令和の歌姫 東亜樹の歌唱、神輿渡御や紅白餅配布で、まつりを盛り上げます。

また、水辺の広場で石炭焼きミニSLの運行（5日のみ）や、子供ゲーム（射的、ストライクピッチ、輪投げ）、バルーンアートの配布、わいわい広場ではフワフワガウラ（5日のみ）も実施します。



5 開催場所



6 問合せ先

袖ヶ浦公園管理組合（指定管理者）

電話：0438(63)6560



4

～地域防災力の向上へ～

「消防団第13分団詰所落成式」 挙行

市では、災害時の活動拠点となる消防団詰所において、老朽化及び耐震基準に適合していないものについては、改築等により計画的に整備し地域の防災力の強化を図っています。

このたび、昭和48年に建設した消防団第13分団の旧詰所を取り壊し、木造2階建ての消防団詰所を同一敷地内に建て替えました。

新詰所竣工を祝い、消防団第13分団主催による落成式を挙行します。

1 日時

令和7年3月15日(土)

式典：10時00分から11時30分まで

2 会場

消防団第13分団詰所（三ツ作1307番地1）

3 内容**(1) 式典**

- 1 開式の言葉
- 2 分団長あいさつ
- 3 市長あいさつ
- 4 市議会議長あいさつ
- 5 区長あいさつ
- 6 消防団長あいさつ
- 7 来賓紹介
- 8 テープカット
- 9 鏡開き
- 10 閉式の言葉

(2) 出席者

市長
市議会議長
消防団本部役員
その他消防関係者

4 問合せ先

消防本部総務課 担当：高橋 電話：0438(62)0119



5

～南庁舎「市民ギャラリー」初展示会～
「がうらっ子学びギャラリー」開催

南庁舎2階市民ギャラリーの初めての展示として、市内小中学校児童生徒の学術作品と芸術作品を展示する「がうらっ子学びギャラリー」を開催します。

学術作品は「図書館を使った調べる学習コンクール」において優秀賞以上に選ばれた数年間の作品の一部を展示します。また、芸術作品は「第52回袖ヶ浦市小中学校造形作品審査会」において推選に選ばれた平面の部の作品を展示します。

1 期間

令和7年3月22日（土）から4月13日（日）まで
8時30分から21時00分まで

2 場所

袖ヶ浦市役所 南庁舎2階 市民ギャラリー

3 展示作品

- (1) 公益財団法人図書館振興財団主催「図書館を使った調べる学習コンクール」優秀賞以上の作品の一部 約30点
- (2) 「第52回袖ヶ浦市小中学校造形作品審査会」平面の部
小学校1年生～中学校2年生の推選作品 約50点

4 図書館を使った調べる学習コンクールについて

「調べ学習」とは、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育てる探究的な学習です。市内小中学校では、学校図書館を活用し、この「調べ学習」に積極的に取り組んでいます。

袖ヶ浦市では、平成12年度より「袖ヶ浦市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、調べ学習の成果を顕彰してきました。

今年度は市のコンクールに、小学校3,550作品、中学校932作品、合計4,482作品の応募がありました。



市のコンクールで優良賞以上に入賞した作品を、全国の「図書館を使った調べる学習コンクール」に出品しています。今年度も、1作品が文部科学大臣賞を、4作品が優秀賞を受賞しました。平成27年以降の10年間で、50作品が優秀賞以上を受賞しています。

5 袖ヶ浦市小中学校造形作品審査会について

袖ヶ浦市では、市内小中学校の児童生徒が図画工作・美術の授業で制作した平面・立体・造形遊びの作品について、毎年市内外から審査員をお招きし、審査を行っています。審査員からは作品に対しての評価だけではなく、各学校の指導者が今後の指導に生かせるアドバイスなど、様々なご意見をいただいています。第52回となる今年度の総出品数は、867点でした。

がうらっ子学びギャラリーでは、今年度の審査会で平面の部で推選を受賞した小学校1年生から中学校2年生までの作品を展示します。

6 問合せ先

教育部総合教育センター 担当：柴崎 電話：0438(62)2254



6

～令和6年4月21日に本館入館者100万人達成記念として～
「郷土博物館本館入館者100万人達成記念植樹」開催

郷土博物館は昭和57年11月29日に開館して以来、常設展示や企画展示を開催し、多くの方のご来館をいただきました。開館42年目の令和6年4月21日（日）には、入館者100万人を達成し、式典及び記念品贈呈を行いました。

このたび、入館者100万人を達成したことを記念して、郷土博物館野外展示施設の万葉植物園にて、植樹を行います。

1 記念植樹

(1) 内容

列席者による「^{だいたい}橙」苗木の植樹及び記念写真撮影

(2) 日時

令和7年3月21日（金）14時00分から

※雨天時 25日（火）に順延

(3) 場所

郷土博物館万葉植物園「万葉の園」付近

2 列席者

- ・100万人目来場者 ^{ねもと}根本 ^{けんとう}絢叶 様
- ・市長
- ・教育長
- ・市議会議長
- ・郷土博物館長

3 その他

(1) 万葉植物園とは

万葉集には約160種類の植物が詠まれています。その中から袖ヶ浦の気候で栽培できるもの、見た目が美しいものなどの観点から、105種類を選んで栽培しています。それぞれの植物の近くに詠まれた歌の歌碑を設置しており、万葉歌人たちの歌とともに、四季折々の草木を楽しむことが



できます。

(2) 記念植樹に「橙」を選定した理由

橙の果実は、冬を過ぎても木から落ちず、そのまま置くと翌年も枝に残ります。

また、橙は主に正月飾りとして使われ、「代々」の意味から代々栄えるという縁起を担いだものであるともいわれています。

そのため、市及び郷土博物館が末永く発展することを祈念し、橙を植樹することとしました。

4 問合せ先

教育部郷土博物館 担当：西原・鈴木 電話：0438(63)0811

